

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

年 月 日

公表日

事業所名		ハル・キッズ・クラブ				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	スペースは確保されており、活動によって使い分けも出来ている。	部屋が狭い。(利用人数により)
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2		日によって足りないと感じる時がある。配置数は適切ではあるが、送迎があると、人手が足りない時がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		事業所は2階にあるため、階段に滑り止めをつけて、配慮が行われている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		事業所内は清潔に保っており、子どもたちの活動に応じて、部屋を変えるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	活動スペースを仕切ること可能であり、個別の部屋も使用出来るようになっている。	1人なりたい(静める)時の部屋が不足。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		定期的に目標を立て評価し、振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		例年、保護者向け評価表を集計し、保護者の意向を把握している。業務改善するために、アンケートを実施し、保護者の意向を把握するようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティング等で意見を共有把握している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		支援の質を向上する為の研修・勉強会を定期的に行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	支援プログラムが作成、公表する予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者面談や、送迎時の会話を参考にしてアセスメントを行い、計画を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		会議などで話し合い、意見を共有している。毎月の会議にて、放課後等デイサービス計画について話し合い、事業所の職員が共通理解した上で作成されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		ミーティング・会議で周知している。放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援を行うようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		標準化されているアセスメントシートを使用したもので確認しており、活動によってインフォーマルなアセスメントシートを使用して確認を行っていることもある。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインの提供すべき支援、本人支援、家族支援、移行・地域支援の内容も踏まえて適切に、具体的に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2		チームではなく、1人で行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		活動の曜日の固定化をしないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	個別活動、集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	個別活動は、ほぼしていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前には職員間で打合せを行い、支援の内容や役割分担を確認しながら、チームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		4	帰りに出来ないので、次の日の打合せでしている。	退勤時間が異なるため、支援終了後に打合せをするのは、難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援経過を記載することを徹底しており、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年ごとにモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行うことが出来る。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	1		自立支援・日常生活の充実の為の活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供のうち、地域交流があまり出来ない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	自己決定をする力を育てられるような支援を行っている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		サービス担当者会議等の会議は児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	地域の医療機関等と連携して支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		情報共有できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		これまでに該当児童がいないので出来ていないが、以後情報の提供はやるべきだと思っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		研修を受けたいと思っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		一緒に活動することはなかったが、長期休暇などにやりたいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		事業所のある市は、放課後デイは参加させてもらえない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々のサービス提供記録にてこどもの状況は伝えている。また、懇談で状況や課題について確認している。送迎時や懇談で伝えあっている。HUGにて(ケア記録)で伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	講師によるお話を開催。2月に開催予定である。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者懇談にて、意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		保護者の方に計画書を確認してもらい、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時などに相談があった場合は丁寧に応じている。電話などでも対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	2月に開催予定である。	交流する機会を提供できていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった際は、迅速かつ適切に対応することを心がけている。対応の体制もしっかり整備されている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月の新聞、活動予定を保護者に発行している。また、SNS等も活用し、行事等あった際は告知している。日々の活動を写真入りで公開したり、月に一度の通信をHUGにて掲載している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人名の書かれてあるものの扱いは厳重にしている。SNSでの写真の掲載にも気を付けている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		分かりやすく内容を伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		毎年、行っているイベントは地域の方を招待している。マルシェを毎年開いている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルは策定されており、職員には周知されており、想定した訓練(会議)を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		CPを策定しており、非常災害の発生に備えることが出来ている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1	契約時に、服薬、てんかん発作等の子どもの状況を確認出来ている	予防接種については、確認出来ていない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	契約時に、食物アレルギーについて、医師に基づく対応をしている。一覧表を見て対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		定期的に必要研修や訓練は行うことが出来ている。AED等の取り扱いや人工呼吸の行い方などの研修を定期的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		災害等が起こった際に、安全確保が出来るよう避難先や連絡先をお伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		毎月の会議でヒヤリハットを共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的に虐待防止研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3		身体拘束の研修や事例検討会は行っているが、放課後等デイサービス計画には記載されていない。